



緑園の授業～小学校高学年に語りかけるつもりで～

緑園総合では10月から11月に研究授業が行われました。10月31日に行われた、伏見先生の世界史Bの授業の様子をお伝えしたいと思います。



世界史Bは選択科目で3年次生6名の受講者による授業で90分の授業を週2回行っています。

今回の研究授業では、生徒各自が世界史に関係した興味のあるテーマを設定し、調査・まとめを行い発表をしました。その時のポイントは、「小学校高学年の児童に理解できる言葉で説明する」ことです。そして、自分なりに歴史をまとめ上げることで、伏見先生は「教科書の内容を小学生に分かる言葉に置き換えることで、内容をきちんと理解しなければならなくなる。生徒には、過去と現在を調べ、未来を考えるように話している」とのことでした。

3年次の諸石さんは「魔女狩りについて」の発表でした。時代背景、場所、魔女狩りの状況について語ってくれ、女性だけでなく多くの男性も対象に含まれており、貧困に苦しむ民衆の不満や不安のはけ口として、魔女狩りが行われていたという説もあることを話してくれました。

3年次の上野くんは、「コンニャクの歴史、伝わり方」についての発表でした。前々から世界一醜いといわれるこんにゃくの花に興味があったそうで、こんにゃくの歴史、伝わり方、そして今後の活用のされ方について予想するという興味深い発表でした。

3年次の柳川さんは、「今までの中国の歴史」という題での発表でした。複雑な中国史をどのように説明するのかと聞いていましたが、何枚も手製の図を用意し、視覚に訴え、明瞭で聞き取りやすい声で説明しました。内容を切り詰めながらも、歴史の中心部分を押さえたものでした。

それぞれの発表が終わると、聞いていた生徒が順々に質問や感想を発表者に伝えます。伏見先生はまとめの言葉や質問を重ね、内容を深めていきます。

分かりやすい言葉を使うことで、自分の

言葉に置き換え、その作業の中で知識をしっかりと消化していることが分かる授業でした。

保護者の方の支え

単位制の学校は、2年次からそれぞれ時間割が違ってきます。全員がそろう日が毎日ではないということです。

そこで困るのは、生徒への連絡や清掃です。清掃については、本校では、火曜日のLHRと金曜日のMIRAIの時間の後に行っています。その2日間しか、全員がそろわないからです。

とはいうものの、週に2日の清掃では、丁寧に行っても十分とはいえませんが、学校生活を送る環境を整えることができていると思っています。

学校説明会の時は、失礼のないように希望者の方を案内する校舎内や、通路となる正門から体育館までを美しく整えなければなりません。

生徒は前日に念入りな清掃をして、中学生や保護者の方が気持ちよく校内を回れるようにします。

そして、仕上げの清掃を保護者の方がボランティアでやってくださいます。厳しい大人の目で見ても十分な箇所を、掃き掃除をし、汚れ落としをしてくださいます。丹念にそしてスピーディーにチームを組んで進めていきます。校舎内を掃除するチームや、中庭や正門からのルートを掃除するチームに分かれて実に手際よく動いてくださいます。



前校長から「本校のPTAは協力的でとても助かっています」と引き継いだのですが、まさにその言葉通りです。いつも和やかな雰囲気各委員会は活動をしていらっしゃいます。笑い声が絶えないPTA活動です。

12月の予定

- 12月 6日(土) 第二回学校説明会
- 12月 11日(木) PTAバスツアー
- 12月 17日(水) 芸術鑑賞教室
- 12月 24日(水) 全校集会
- 12月 25日(木)～1月7日(水) 冬季休業

校長 遠藤 誠